



商工部会 2025年度第3回セミナー実施報告

ダラス日本人会商工部会では、12月11日(水)にトヨタ通商システムズと共催し、「Microsoft Copilot活用セミナー」を開催しました。会場には約50名が参加し、Microsoft生成AIツール「Copilot」の活用法を体感的に学びました。

セミナーでは、Copilotの用途を3つのフェーズに分けて説明がありましたが、特に日常業務ですぐに使える初級編と中級編に焦点が当てられました。TTS社員様的一天を例に、ユーモアを交えた実演が行われ、Copilotがどのように業務をサポートするのか身近に感じることができました。

初級編では、議事録作成やメール要約、文書作成、アンケート作成、集計・分析、報告書作成まで、あらゆる業務でCopilotが活躍することを紹介。例えばアンケート作成では、簡単な指示文を書くだけで複数の質問や選択肢がリスト化されます。さらに、集まった回答の分析やグラフ作成も自動で対応、そのまま考察や今後の提案レポートの作成、さらにはパワーポイント資料まで自動生成できることについて講演されました。

Copilotの名称どおり、人間に話しかける感覚でAIに指示ができる点が特徴的です。Microsoftの他ツールとも連携しており、たとえばTeamsミーティングで出遅れた際には、過去の議論を要約して説明してくれる便利な機能も



体験できました。

中級編では、特化型エージェントの可能性が紹介されました。実演では、AIが自動生成した1万3千字に及ぶ「北米製造業の市民開発導入」のレポート例が示され、そのボリュームと即応性に驚きの声があがりました。Copilotを活用すれば、膨大なマニュアルPDFを読み込んでQ&A型のユーザーマニュアルに転換したり、参照元を明確にした上でWordやExcel資料から答えを抽出することも可能です。

業務プロセスの自動化や効率化を、専門知識がなくても実現できるCopilotの導入は、今や多くの企業で進んでおり、更なる働き方改革に寄与することが期待されています。質疑応答では多くの質問が寄せられ、セミナー後も参加者の関心の高さがうかがえました。今後はAIが人間の“雑務、作業”をこなしてくれ、人間は企業価値の上昇につながる“仕事”に費やす時間が増えるのではと思いました。

最後に、今年も商工部会の活動に多くの方々にご参加いただき、心より感謝申し上げます。来年も企業交流会をはじめとした各種セミナーの開催を予定しておりますので、会員の皆様にとって有益なテーマを皆様とともに探求してまいります。引き続き、積極的なご参加をお待ちしております。来年もよろしくお願い致します。



▲トヨタ通商システムズ講師による講演

記：商工部会役員(Deloitte Tax) 齋藤 晃良